



第 122 回院内コンサート

日時 : 2025 年 12 月 20 日 (土) 14 時～

場所 : 亀田病院 新館待合ホール



♪ ♪ ♫ 演奏者プロフィール

こやま ちづる

ヴィオラ : 小山 千鶴さん



東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学をヴァイオリン専攻で卒業後、アメリカ、ボストンにヴィオラ専攻で留学。帰国後は、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。2010 年に退団し現在は室内楽、オーケストラ等で活躍。ヴァイオリンを海野義雄、天満敦子、澤和樹各氏、ヴィオラをウォルター・トランプラー氏、室内楽をルイス・クラスナー、ユージン・レイナー、原田幸一郎各氏に師事。一般社団法人横浜音楽文化協会会員。



やまざき やすこ

クラリネット : 山崎 泰子さん

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。同大学卒業演奏会、ヤマハ新人演奏会出演。シエナウインドオーケストラ発足メンバーとして入団。退団後、東京吹奏楽団クラリネット奏者として 2025 年の卒団まで全国各地でのコンサートに出演。現在、東京吹奏楽団アソシエイトメンバー、東京クラリネットフィルハーモニー、アンサンブル jou jou メンバー。一般社団法人横浜音楽文化協会会員



さかきばら きほこ

ピアノ : 榊原 紀保子さん



東京音楽大学卒業。同校研究科室内楽・声楽伴奏コース修了。その後チェコに渡りアンサンブルを軸に更なる研鑽を積む。現代作曲家との関わりも多く木下牧子作曲《音楽物語～蜘蛛の糸～》はじめ数々の作品を委嘱、初演。ジャンルを問わない豊富な実績と、繊細かつスケールの大きい色彩豊かな演奏は器楽・声楽を問わず国内外の様々な演奏家から絶大な信頼を寄せられている。オペラシアターこんにやく座ピアニスト。無類のビール好きピアニストとしてジャパンプアソムリエの資格も有する。

★プログラム★



♪ヨハン・セバスチャン・バッハ作曲(1685～1750)

主よ人の望みの喜びよ

ドイツの作曲家、オルガニスト。彼は「音楽の父」と呼ばれている。「主よ人の望みの喜びよ」は、1723年に作曲した教会カンタータ(器楽伴奏付きの声楽曲)の終曲のコラール(ドイツ・プロテスタント教会で用いられた讃美歌)である。クリスマス、イースターなどキリスト教の祝祭の時期や、結婚式に演奏されることが多い。



♪フランソワ・ドヴィエンヌ作曲(1759～1803)

フルートとヴィオラのための二重奏曲

フランスの作曲家、木管楽器奏者。彼はフルートとファゴットの演奏家でもあった。パリ音楽院では初代のフルートの教師であり、フルートの教則本も出版している。この教則本は、フランスの吹奏楽の向上に大きく貢献した。ファゴット奏者としては、劇場で演奏をしていた。この二重奏曲は、メロディの鮮やかさと創意工夫が表れている室内楽作品である。

♪ロベルト・シューマン作曲(1810～1856)

おとぎ話

ドイツの作曲家。「トロイメライ」「楽しき農夫」「流浪の民」などで有名なシューマン。彼の作品は、文学や詩の影響を受けているものが多いとされている。「おとぎ話」も芸術運動(ドイツロマン主義)が盛んだった18世紀末～19世紀前半の文学形式の1つ「メーテルヒェン」の影響がみられる。



お願い：許可のない動画・写真の撮影はご遠慮ください。
なお、感染症拡大の際にはコンサートが中止となる場合もございます。

次回は、2026年1月10日(土) コー・ガブリエル・カメダさんによる特別コンサートです。
第123回院内コンサートは2026年1月17日(土) 14時00分～です。